

脳波

検査の目的 脳の神経の働きを見る検査で、覚醒や睡眠の状態、脳の機能障害の有無、その程度や広がりなどを知ることが出来る検査です。

検査の方法 **検査準備**
頭皮の電極装着部位を、皮膚前処理剤や消毒用綿を用いて余分な角質や脂分を取り除きます。ペーストを用いて決められた位置に電極を装着後、ベットに仰向けで寝ていただき、両手首に心電図電極を装着します。

記録

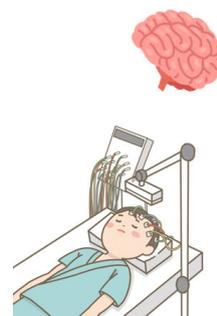
検査中は軽く目を閉じ、体の力を抜いてください。

検査中、開眼や閉眼・深呼吸(3分間)・目に点滅する光を当てる刺激を行います。痛みは伴いません。

脳波

検査時間 約60分

- 睡眠脳波記録が必要との指示があった場合は、前日の睡眠時間を短くしてください。
- 検査前は普段通りの食事をとってください。
- 長時間にわたる検査ですので、お手洗いは済ませておいてください。
- 可能であれば、検査当日は洗髪し、整髪剤などは使用しないでください。
- 帽子、眼鏡、カツラ、エクステ、髪留め、アクセサリーなどは、検査前に外していただきます。
- 検査終了後、頭皮に付着したペーストは拭き取りますが、ご自宅にて洗髪し洗い流してください。



筋電図・神経伝導速度

検査の目的 筋電図：神経や筋肉の障害の部位や程度を知るための検査です。
神経伝導速度：神経の機能を調べるための検査です。

検査の方法 筋電図は針電極を使用し、神経伝導速度は電気刺激をする検査であるため多少の痛みを伴いますが、危険性はなく安全です。

検査時間 約30分

脳神経内科・耳鼻科・整形外科の医師が施行します。



終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）

検査の目的 夜間睡眠の質や量、睡眠中の生体現象の異常が睡眠に与える影響を調べる検査です。特に睡眠時無呼吸の有無が評価できます。

検査時間 1晩

- テープにかぶれる場合があります。皮膚の弱い方はお申し出ください。
- 記録中はセンサー類に触れないようにし、水で濡らさないように注意してください。
- 携帯電話、電気毛布などの使用に制限があります。
- 複数のセンサーを装着し続けるため精神的・肉体的束縛感を伴いますが、可能な限り普段と同じ生活をし、十分な睡眠をとってください。

終夜睡眠ポリグラフィー (PSG)

検査の流れ

1日目

1時間

取り付け

- 入院後、検査室にお越しいただき、装置を装着します。
(お手洗いを済ませパジャマに着替えた状態でお越しください)
- 睡眠状態や呼吸状態を評価するため様々な機器を取り付けます。(右図参照)

1晩

記録

- 記録は病棟にて行います。
- 当日の夜は、装置を付けた状態で睡眠してください。

2日目

起床時

取り外し

- 起床後、病棟にて装置を取り外します。
- 前日の睡眠時間や睡眠の状態などについて、アンケートにお答えいただきます。

